

（主な意見・質問）

（意見）スクールバスの送迎時の見守りについては、通学の初日だけ行うということだが、それだと保護者や子どもたちは不安に思うのではないか。しばらくの間は、運転手以外に子どもたちを見守る人を乗せてほしい。

（意見）学校行事等により、下校時間が変更となった場合に、スクールバスの手配が大変である。この事務を担当する職員を配置してほしい。

（答）人員配置については検討する。

（問）地区の文化祭や地域行事などでスクールバスを利用したい場合、教育委員会に申請すれば利用可能か。

（答）子どもたちが行事に参加するのであれば、スクールバスの利用は可能だと思うが、地域住民だけで利用するのは難しいと思う。

（意見）双岩地区の文化祭に、川上地区や神山地区の子どもたちが見に来ることもあれば、その逆もあると思う。その時にスクールバスを利用させてほしい。

（答）送迎する人数によると思うが、対応が難しいと思う。

（問）例えば、今回は5，6年生を対象にするとか、学年ごとに指定すれば対応できるのではないか。

（答）個別対応とさせてほしい。

（問）新しい学校での授業中に災害が起きた場合の対応策として、避難場所や子どもたちの受け渡し方法などの避難計画が策定されているのか。

（答）例えば、南海トラフ地震による大津波が発生した場合は、高台に一時避難し、大津波警報が解除されたら使用できる避難所に避難することになる。また、各学校では危機管理マニュアルを策定しており、それに基づき、小学校であれば、引き渡し訓練を行っている。新しい学校についても、同様に危機管理マニュアルを策定する。

（意見）統合する前に危機管理マニュアルを策定していたほうが、保護者も安心するので、早めに策定してほしい。

（答）学校の危機管理マニュアルの策定については、学校長の権限となるため、学校が策定する。統合準備委員会では、学校に対して、危機管理に関する提案を行っていく。

（意見）跡地利用については、2月14日に西予市で跡地利用に関する講演会があるので、その会に参加した後、地域住民で意見を出し合い、集約できるか分からないが、ある程度の意見がまとまれば、地区で跡地利用について検討する会を設けたい。

（答）地区の跡地利用の会には、市教委も参加する。

(意見) 双岩小の子どもたちが大きい学校に行くことになれば、プレッシャーに感じると思うので、統合する前に子どもたち同士が交流できる場を設けてほしい。

(答) 統合する前に、子どもたちの交流を行う予定である。

(意見) 教育委員会の予算が少ないように思う。八幡浜市は、ふるさと納税の寄付額が愛媛県内で一位なので、その資金を教育委員会に配分できるように努力してほしい。

(意見) 八幡浜市の補助金交付要綱に基づき、閉校記念誌や閉校記念碑に係る経費の2分の1以内の額を補助するということであるが、もう少し補助率を上げてほしい。

(答) 今年度末に中学校3校が閉校するが、その時にも各学校から補助率の見直しについて要望があり、検討した。結果的には、過去の統合の実績に基づき、見直さなかった。八幡浜市は、補助金の上限を決めていないため、他市に比べて支出している額は大きい。

(意見) ある情報誌に、外国人の保護者が小学校の国語の授業に自由参観し、子どもたちと一緒に国語の勉強をしていることが書かれていた。新しい学校でも同様の対応ができれば、優しい学校になるのではないかと思う。

(答) 実情に応じて、検討する。

(問) 新しい学校での運動会に保護者が参観する場合、双岩地区や川上地区は車で来る家庭が多いと思うが、駐車場の問題はないのか。

(答) この件については、今後、統合準備委員会や作業部会等で検討していく。

(意見) 学校行事と地域行事のすり合わせについても、早めの検討をお願いする。

(答) 公民館行事は、毎年2月くらいに決定するので、統合準備委員会や作業部会で検討するのは難しいと思う。川上地区や神山地区の行事もあるので、各公民館と学校が情報交換しながら進めていく必要がある。

(意見) 跡地利用に関する地元の声は、避難所や公民館としての利用、マウンテンバイク大会などの簡易宿泊施設などがあった。ただ、小学校に行くまでの道が急坂なので、高齢者は大変だという声もある。